

平成31年2月12日

きぼう代表 望月昭治
政策調査会代表 中澤広行
議長 茂木弘伸

視察日程 平成31年2月8日から2月9日
視察場所 広島県尾道市
視察議員 望月昭治 石倉一夫 須田 勝 星野安久 中澤広行 茂木弘伸

尾道市新本庁舎建設事業について

視察日 平成31年2月8日
説明者 尾道市参事（庁舎整備担当）兼総務部総務課長事務取扱
中津康徳氏
尾道市総務部総務課主査
藤原比小枝氏
対応者 尾道市議会事務局次長
原田政晴氏

1 尾道市の概要

自然の良港を持つ尾道は、平安時代の嘉応元年（1169年）、備後大田荘（後、高野山領）公認の船津倉敷地、荘園米の積み出し港となって以来、対明貿易船や北前船、内海航行船の寄港地として、中世・近世を通じて繁栄をとげました。港町・商都としての発展は各時代に豪商を生み、多くの神社仏閣の寄進造営が行われました。

海を望む階段や坂道、路地越しに見える尾道水道、点在する寺院など、歴史を凝縮した景観に魅かれ、この地で「暗夜行路」の草稿を書いた志賀直哉、尾道の女学校に通った「放浪記」作者の林芙美子、この地をこよなく愛し描き続けた小林和作をはじめ、多くの文人墨客が足跡を刻みました。また、近年では数々の映像作品の舞台となり映画のまちとしても有名です。

明治31年（1898年）、県内では広島市に次いで2番目に市制を施行し、周辺市町村との合併（※）を経ながら市域を拡大して、緑豊かな北部丘陵地域から尾道水道周辺地域を経て独特の多島美を有する瀬戸内海地域に至る、多彩な資源を有するまちになりました。

歴史と文化に溢れる島々を結び、全長約 70km の海の道をサイクリングで満喫できるしまなみ海道をはじめとする新たな魅力と歴史・伝統に育まれた資源を活かし、他にはない魅力的な価値を持つまちづくりを推進しています。

瀬戸内のほぼ中央に位置し、山陽自動車道、瀬戸内しまなみ海道に加え、平成 27 年（2015 年）3 月に全線開通した中国やまなみ街道（中国横断自動車道尾道松江線）により、広域拠点としての機能は高まり、まさに「瀬戸内の十字路」としての発展が大いに期待される都市です。大半が山地で、島しょ部は概して急峻で平に乏しく、平地は尾道水道・御調川沿い・島しょ部の海岸沿いに形成されています。

また、国立公園である瀬戸内海は独特の多島美を有しており、海・島と山地、丘陵が織りなす多様で豊かな自然は新市の特徴となっています。

気候は温暖で降雨量が比較的少ない瀬戸内型に属しますが、内陸部は温度較差がやや大きい山間部の特性を示しています。（市 HP より）

2 新庁舎建設概要

昭和 35 年建築の市役所本庁舎は、平成 24 年度に実施した耐震診断の結果、大地震により倒壊または崩壊する危険性が高いことが判明しました。

この結果を受けて市役所本庁舎の整備方針を検討するため、専門家、市内団体から選出された方で構成する尾道市庁舎整備検討委員会でご議論いただき、「公会堂を解体して、その跡地に新庁舎を建設することが適当である」とする意見書の提出を受けました。

その後、市としての検討を重ねた結果、費用の面、時間的な制約の面、整備後の利便性を勘案して、公会堂位置への新築が最も有利との結論に至り、今回、基本構想（素案）としてまとめました。

この素案は、市民からご意見をいただきながら修正を加え、平成 26 年 10 月末までに基本構想としたそうです。

災害に強いまちづくりを平成 32 年度までに実現するため、因島総合支所、御調支所及び百島支所の整備にかかる基本方針（素案）も作成した。



新庁舎イメージ図（日建設計）

現在の庁舎が持つ尾道水道に広がる水平線を意識しながら、海側へせり出した構造と客船をイメージさせる外観が印象的です。

2回の300人収容の多目的スペースと約600㎡のフラットステージ、1階のカフェ、護岸デッキスペース、屋上の展望広場（終日開放）など観光地にふさわしい空間づくりを取り入れていました。



見晴らしの良い会議室で説明を受けました

3 コスト

新庁舎建設工事費（本庁舎解体・外構整備費含む）	62.93億円
隣接分庁舎解体・外構整備費	0.18億円
隣接公会堂解体・外構整備費	0.99億円
隣接駐車場解体・外構整備費	0.50億円
設計・管理費	2.80億円
備品購入費・移転費	4.00億円

総額 71.40億円

資金

建設基金	9.00億円
社会資本整備交付金	1.00億円
（その他合併特例債で補えない部分は普通建設債を発行する）	



現庁舎敷地に建設し完成後は現庁舎が駐車場に

4 視察を終えて

構想から7年にして平成31年秋に完成する新庁舎。尾道という観光地らしさを取り入れるとともに市民目線で、できるだけ開放的にした印象を受けた。屋上の終日開放も珍しいのではないか。渋川市の喫緊の課題である庁舎問題に参考になる視察であった。



現市役所入口にて